

### 17-3 洪水の予測方法

今後の雨の降り方や雨量、又、上流のダムからの放流量によっては下流の水位に影響がでます。これらの情報をもとに、今後の下流の水位変化を予測し、その後の水防活動に活用します。

#### 1) 洪水予測

水防活動を、適格に迅速に行うには、正確な情報が不可欠です。又、今後の雨量や水位の予測といった情報も水害軽減には欠かせません。

吉野川では、今後の雨量予測やダムの放流予測をもとに下流の基準地点（池田、岩津、中央橋など）で1時間先、2時間先、3時間先までの水位上昇（又は下降）を予測し、气象台と共同で「吉野川洪水予報」として発表し情報提供を行っています。

#### 2) 洪水予報

吉野川は、洪水予報河川と指定されています。（法10条2項）

国土交通省 徳島工事事務所と徳島地方气象台は、洪水のおそれがあると認められるときは共同して、その状況を水位などで関係機関や一般住民に周知する責務があります。

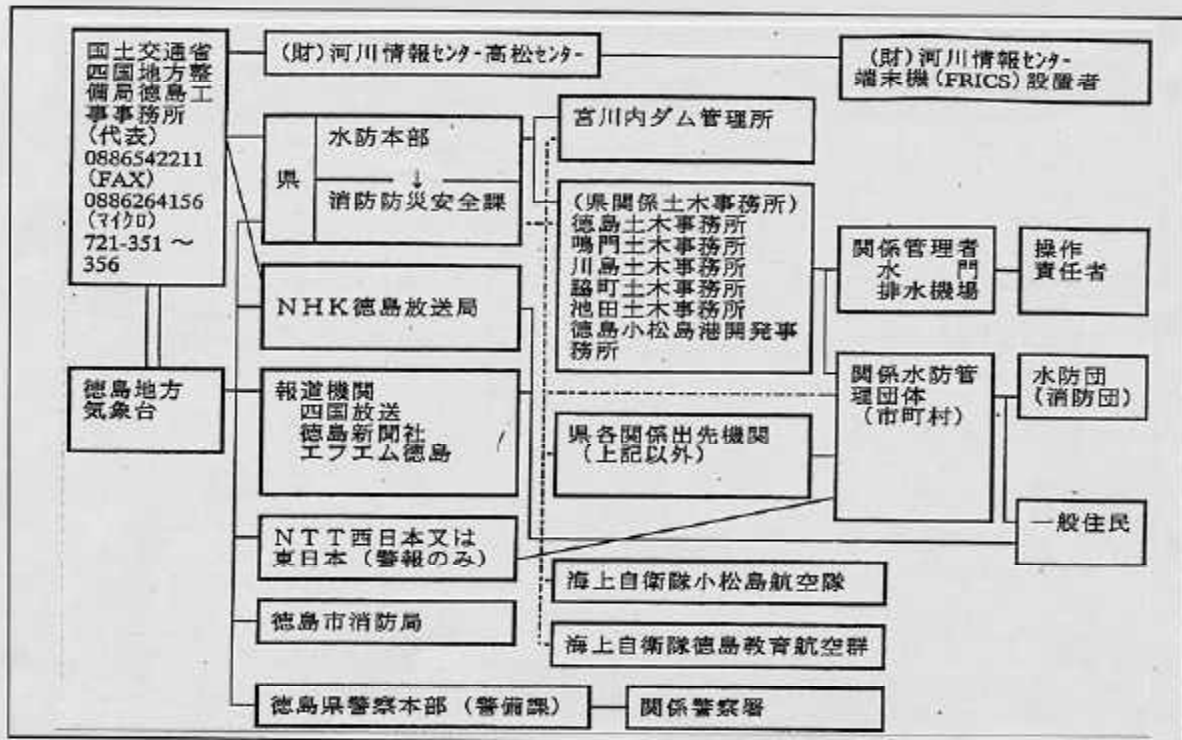


図 17-2-2 吉野川洪水予報の連絡系統図

なお、洪水予報には洪水注意報と洪水警報の2種類があります。また、随時洪水情報を発表し必要な情報を補足します。

現在、吉野川は洪水予報河川に指定されています。(全国では107水系189河川が指定されています。)この洪水予報河川とは、「二以上の都府県の区域にわたる河川又は流域面積が大きい河川で洪水により国民経済上重大な損害を生ずるおそれがあるものについて」指定できる河川です。(水防法第10条2項)

吉野川でも、洪水のおそれがあると認められるときは、徳島工事事務所と気象台が共同して、その状況を水位又は流量を示して徳島県に通知するとともに、必要に応じ報道機関の協力を求めて、これを一般に周知しています。

この吉野川洪水予報には現在の川の状況だけでなく、この後の河川の状況(水位など)も予想して、吉野川沿川住民に十分な警戒を怠らないよう注意を促しています。

洪水予測は、この洪水予報の今後の予測のため行われるものです。方法は簡単に説明すると、現在までの雨や水位などの情報とダムの放流量、それと今後の雨の予測から3時間先までの川の水位や流量を予測するものです。

この洪水予測は現在、コンピューターによる「洪水予測システム」により計算していますが、この洪水予測の精度向上が的確かつ迅速な水防活動の助けとなるものです。

洪水予報（洪水注意報、洪水警報）には、2種類あります。

1つは、気象台から発表される洪水予報。これは、気象業務法に基づき発表されるもの。

...

もう1つは、気象台と国土交通省から発表される洪水予報ですが、こちらは吉野川洪水予報と頭にその河川名があります。これは、水防法に基づくものでその河川の沿川を対象に発表されるものです。

### 1.気象台から発表される洪水予警報。

気象台	気象注意報	大雨、高潮、強風等によって、災害が起こるおそれがある場合その旨を注意するよう促すための予報。
	気象警報	大雨、暴雨、高潮等に関する警報
	洪水注意報	洪水によって災害が起こるおそれがある場合、その旨を注意して行う予報
	洪水警報	洪水に関する警報

### 2.気象台と建設省から発表される洪水予警報。

気象台+建設省	○○川洪水予報	洪水注意報	河川の水位が都道府県の水防計画で定められた警戒水位を突破するおそれがあるときに発表。
		洪水警報	地域住民に重大な損害のおそれがあると予想させられるときに発表。
		その他の情報	気象情報や洪水の情報などを知らせる必要があるときに発表。